

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3階302号
Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番
URL : <http://www.sakai-kita.jp/>
E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

例会日 毎週金曜日 午後0時30分
例会場 南海グリル 天兆閣別館4階「ローズ」 Tel:(072)222-0131番(代表)
ガバナー(第2640地区) : 岡本 浩
ガバナー事務所 URL : <http://www.rid2640g.com/okamoto/>
E-mail : okamoto2640@athena.ocn.ne.jp

会長: 辰 正博 幹事: 池永隆昭 広報委員長: 中川 澄 編集者: 嶽盛和三

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

本日の例会

2018年2月23日(金)第1786回

「テーブル会議」

議題: 規定変更の件、例会日程の確認

その他

今週の歌「奉仕の理想」

「どこかで春が」

お客様の紹介・出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

今週の歌「どこかで春」

どこかで春が 生まれてる
どこかで水が 流れ出す
どこかで雲雀(ひばり)が
鳴いている
どこかで芽の出る 音がする

「例会で待っています!!
あなたの笑顔と皆勤を!!」

前回の例会

2018年2月16日(金)第1785回

卓話 「暴力団排除活動のための
DVD～撃退～」

卓話者 國井 豊 会員

今週の歌「奉仕の理想」「堺北RCの歌」
「夢路より」

お客様の紹介・出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

<2月16日(金)の出席報告>

会員数	28名
出席会員	16名
欠席会員	12名
ゲスト	0名
ビジター	0名
12月8日(金)の出席率	87.09%

次週の例会

2018年3月1日(金)第1787回

例会変更 及び 4クラブ合同例会
於いて、南海グリル東店
点鐘18時～



ロータリー:
変化をもたらす

2017-18年度 国際ロータリーのテーマ
「ロータリー: 変化をもたらす」
国際ロータリー会長 イアン・ライズリー (オーストラリア・SandringhamRC)

卓 話

「暴力団排除活動のためのDVD 撃退！」

国井 豊 会員



暴力団の特徴的傾向

(1) 不透明化を更に増す

暴力団

暴力団対策法が施行された（平成4年）後、

暴力団は組事務所から代紋、看板等を撤収し、名簿等に組員の氏名を使用しないなど、組織実態に関する事実を隠ぺいしてきました。

また暴力団排除条例の施行（平成22～23年頃）後は、企業・社会等の暴排気運が高まったことから、その傾向を更に強めるほか、活動形態においても、政治活動や社会運動を仮装・標ぼうするなど、不透明化の傾向を一層増しています。

(2) 資金獲得活動を多様・巧妙化させる暴力団
覚せい剤の密売、恐喝、賭博及びノミ行為等の暴力団特有の「伝統的資金獲得活動」は、依然として有力な資金源となっており、特に、薬物乱用者からの根強い需要に加え、利益率が高く、暴力団にとっては魅力的な資金源である「覚せい剤の密売」の比率が高まっています。

また、オレオレ詐欺・架空請求詐欺・還付金詐欺等のいわゆる「特殊詐欺」のように暴力団の威力を必ずしも必要としない詐欺に関して、その犯罪収益を資金源とする割合が増しています。

このように暴力団は、警察による取締りを逃れつつ、より巧妙にかつ効率的に経済的利益を得るため、その活動を変化させています。

また、暴力団主要団体の中枢組織を中心

に、「暴力団関係企業」や「共生者」を利用することなどにより、経済・社会の発展等に対応し、資金獲得活動を多様かせており、強固な人的・経済的基盤を維持しています。

(3) 六代目山口組の分裂に伴う暴力団情勢の変化

平成27年8月末に六代目山口組が分裂し、離脱した直径組長らより「神戸山口組」が結成され以降、両団体による対立抗争が各地で発生しましたが、警察の厳しい取締り等により、現在は沈静化の傾向にあります。「神戸山口組」の指定暴力団としての指定後、暴力団の勢力は、これまでの「主要3団体」（山口組・住吉会・稲川会）から「主要4団体」の状態になりました。

会長の時間

会長 辰 正博



今日は現在、韓国のピョンチャンで行われている冬期のオリンピックについてお話ししたいと思います。

冬期のオリンピックは1924年フランスのシャモニーで行われた国際冬季スポーツ週間の大会で16カ国258人で16種目の競技を争ったのが始まりとなっています。

その後、1940年と44年は第二次世界大戦の影響で中止になるも1992年のアルベールビルまでは夏季のオリンピックと同じ年に開催されてきましたが1994年のノルウェーのリレハンメル大会から夏季とは2年ずらして行われる様になりました。

その後、1940年と44年は第二次世界大戦の影響で中止になるも1992年のアルベールビルまでは夏季のオリンピックと同じ年に開催されてきましたが1994年のノルウェーのリレハンメル大会から夏季とは2年ずらして行われる様になりました。

良くテレビの雑学などで商業的な目的の為とか注目度を上げる為などいわれていますが、国際オリンピック委員会は正式な理由を語っていませんので実際の所、不明です。

冬季オリンピックは雪が必要な為、今まで北半球
でしか開催されていません、そして次回の大会は
中国の北京となっています。

また基本的に雪の競技がほとんどなので参加国は
夏の大会より少ないですが今回の大会では92の
国と地域の2900人超の選手が参加して102
種目の競技を17日間争います。

またパラリンピックは10日間600人以上の選
手で争います。

ところで、日本の冬季オリンピックの金メダルは
全部で10個と意外に少ないですが、第1号はだ
れかご存じですか？それは1972年の札幌オリ
ンピックの70mジャンプの笠谷選手です。

その次の金メダル獲得選手は20年以上後になり
1992年のスキーノルディック複合団体競技で
の三ヶ田、河野、荻原選手まで待つことになりま
す。その後はスキージャンプ競技や男子のスピー
ドスケート短距離、女子モーグルなどで獲得して
おり、最近では2014年のロシアのソチの大会
で今回もメダル候補の羽生選手がフィギュアスケ
ートで金メダルを獲得しています。

今回の大会会場は今までも特に寒く、風が強いこ
ともあり大変ですが各選手達がメダルを目指して
熱い戦いを繰り広げているので、皆様もテレビ
で観戦しつつ応援してあげてください。

委員会報告

広報委員会

「ロータリーの友・1月号の紹介」

広報委員 池田 茂雄



「左びらき」

(1) 62 ページ

「ネパールから時を超え
元米山奨学生来訪」

当クラブがお世話をした元米
山奨学生マナババ・シュレスタさんが、昨年9
月1日に当クラブを訪ねて来て下さった時の
記事が掲載されています。20数年前に大阪府大
学を卒業し帰国されてから、初めて当クラブを

訪問して下さいました。

当時の会員は「堀畑・池田・國井」の3人だけ
でしたが、クラブ全会員の心が一つになって、
大歓迎会を開催しました。

今回のことで、クラブ一同、米山奨学事業に
対して認識を新たにしました次第です。

(2) 30 ページ

「米山記念奨学事業 50年のあゆみ」

米山記念奨学事業発足から50年となりました。
現在では「年約800人」の奨学生を日本の大学
に迎え入れています。これまでに世界125ヶ国
から約2万人の奨学生を支援しています。日本
のロータリーが発足させた世界に誇る奨学生
支援事業です。大きな国際奉仕事業のひとつで
す。

S A A

辰 正博会員 國井会員本日卓話宜しくお願いし
ます。

合計 2,000円

2018年河津桜情報



2月21日(水)米澤会員撮影

河津桜の横に

立派なおトイレが建設されています。

3月15日頃に完成するようです。

純粹親睦

ロータリーの初期のころ、シカゴの新聞にロータリーを紹介する記事がのりました。

ロータリーに出席すると非常に気分が開放的になり、それだけではなく何とはなしに自分の心の中で世のため人のためのエネルギーが自覚されてくる。ロータリークラブに行くと、地域における良心的な職業人の会議みたいなものを感じることができる、ということであったそうです。

気分が開放的になって、楽しい、それがロータリーの本来の出発点だったわけです。

ロータリーは職業人の親睦の団体として始まった社交クラブであります。社交クラブというのは行きたい時に行き、止めたい時にはいつでも止められるというものでしょう。

ところがロータリーの場合、ポール・ハリスは本来任意性の強い社交クラブの中で、開放的な親睦を作りたいと、何かと疑心暗鬼のおこりやすい同業者を排除して、フランクに話合える異業種の人をもって構成しようとして一業一会員制をとりました。その結果業種の違った者たちが肩と肩を寄せ合う親睦の中で、おのずから異業種の智恵が交換されて、己の視野がひろがり、商売の見通しができるようになって、それぞれの企業が繁栄するようになりました。1929年に始まるアメリカの社会を襲った空前絶後の大パニックにロータリアンは一人も倒産しなかったと言われています。こうして、自然に醸成された親睦のエネルギーを自分たち以外の人々の幸せのためにも放流しようということになって1908年「奉仕」という言葉によって結びつけられるにいたったのであります。

このように、ロータリーは異業種の集まりであるがゆえに、異なる発想の交換によって、個々のロータリアンが精神的影響を受け、より高い論理的思想を次第に習得していくことを理想とします。これを純粹親睦というのです。

親睦と言えば楽しむことだと思ってしまうのですが、親睦にはいろいろな意味があります。

親睦の中には人間の社会性を形成するためのありとあらゆる現象が含まれています。そういった親睦のすべての意味をひっくるめての中心概念は心の向上というか、心の錬磨ということでしょう。心の錬磨があつていろいろ楽しみが出てくるのだと思います。そして全体的に楽しい親睦の状態が持続されていくのです。

ロータリー文庫より